

保育指導案

日時・場所	令和〇年〇月〇日9:00～9:40 保育室	
対象	5歳児	
園児の姿からの願い	<p>体を動かすことが好きな園児が多く、鬼ごっこやリレーなど友達を誘って遊んでいる。室内では、廃材遊びやLaQなどを好み、友達同士で考えたり話をしたりしながら、イメージを膨らませて形にすることを楽しんでしている。自分の思いを伝えることはできるが、友達の思いや考えを聞くことが苦手な園児が多い。</p> <p>こまを使った遊びは、昨年度の年長児が発表会でこま回しを発表した姿を見て憧れの気持ちを持ち、継続して挑戦している。本時では、廃材を使ったこま作りを通して、身近にある様々な材料を使い、必要なものを選んで工夫したり試したりする経験を通して、発見や楽しさ、達成感を味わってほしい。また、友達のよさに気付いたり、認め合う大切さを学んだりしてほしい。</p>	
活動	こまを作って、こま回し勝負を楽しもう。	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な材料を使って、工夫してこまを作ることを楽しむ。(カ 思考力の芽生え コ 豊かな感性と表現) ・友達と思いを出し合いながら、こま回しを楽しむ(ウ 協同性 ケ 言葉による伝え合い) 	
評価の観点	<p>○園児の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに工夫しながらこま作りを楽しめたか。 ・自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりしながらこま回しを楽しめていたか。 <p>●保育教諭の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な材料・用具を使ってイメージやアイデアが生まれるような環境作りができたか。 ・園児の思いを受け止めたり、伝え合ったりする環境作りができたか。 	
時刻	生活の流れ	○予想される園児の姿 ★環境構成 ●保育者の援助
8:30	○順次登園・身支度をする (ア、イ、ク)	<ul style="list-style-type: none"> ●登園した子どもから視診し、一人一人の健康状態を把握する。 ★「きょうのよてい」が書いてあるホワイトボードを見やすい場所に掲示して、見通しを持つことができるようにしておく。 ○身支度をすませて、自由遊びをする。 ★レゴブロック、LaQ、こま、折り紙
8:45	○片付けをする。(イ、オ)	
8:50	○じゃんけん列車(イ、ク、ケ)	<ul style="list-style-type: none"> ○片付けから次の活動に切り替えができていく園児がいる。 ●じゃんけん列車を取り入れ、楽しみながら切り替えができるようにする。 ○じゃんけん列車の回数を決める。 ●今日の当番児名の文字数をみながら一緒に確認し、決めていく。
8:55	○サークルタイム(イ、オ、カ、ケ) ・前日の振り返りをする。 ・本日の活動内容を決める。	<ul style="list-style-type: none"> ●前日の振り返りを行い、今日の活動へ意欲や楽しみが持てるようにする。 ★前日までの様子がわかりやすいように写真を用意しておく。 ○自分の思いを伝えることができる園児がいる。 ●自分の思いを伝えたことを認め、友達の思いに気付くことができるように関わる。
9:05	○こま作りをする。(イ、ケ、カ、コ)	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">オルガン</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">材料</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ★机の準備を友達と一緒にできるように声をかけていく。 ★素材や用具は園児の意見を取り入れ準備し、整理して取り扱い易いように準備しておく。 ○どんなこまにしようかすぐに決められず、悩む園児もいる。 ★傍で見守ったり声かけをして援助していく中で、一緒に考えることで思いを引き出していく。
9:20	○作ったこまを回してみる。(ケ)	○こまが回る様子を観察したり、友達同士で回したりすることを楽しむ。
9:25	○こま回し勝負をする。(ウ、エ、ク)	<ul style="list-style-type: none"> ★始める前にルールや約束について話をし、共通認識をしておく。 ○友達とこまを回すことや勝負することを楽しむ姿がみられる。 ●楽しんでいる姿に共感していく。 ○うまく回せないことや、すぐに止まってしまう、あきらめる園児がいる。 ●本児の思いに寄り添い、友達と一緒に誘ったり、励ましたりする。
9:35	○振り返りをする。(ケ、コ)	<ul style="list-style-type: none"> ★友達同士の顔が見えるように円になり座る。 ●園児の言葉に共感したり、思いを受け入れたりしながら聞き、園児が安心して思いを伝えられるようにする。
幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 健康な心と体 (ウ) 協同性 (オ) 社会生活との関わり (キ) 自然との関わり・生命尊重 (ケ) 言葉による伝え合い 	<ul style="list-style-type: none"> (イ) 自立心 (エ) 道徳性・規範意識の芽生え (カ) 思考力の芽生え (ク) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 (コ) 豊かな感性と表現